

HIV 感染症に伴う消化管病変に関する観察研究

1. 研究の対象

当院で診療歴のある HIV 感染症の方のうち、消化管病変を指摘された方

2. 研究目的・方法

HIV 感染症では免疫機能の低下に伴いさまざまな合併症を誘発しますが、そのなかでも消化管の合併症の頻度は高いです。また消化管合併症を契機に HIV 感染症が発見される場合があります。消化管病変の特徴を明らかにすることは HIV 感染症の診療において意義深いものとなります。本研究では、HIV 感染症に伴う消化管病変の疾患別発生頻度、内視鏡的特徴、背景因子との関連などを検討することとしました。

研究期間：倫理委員会承認後～西暦 2025 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：疾患名、内視鏡所見、臨床検査値（白血球数、リンパ球数、CD4 細胞数、HIV-RNA 量など）、年齢、性別、カルテ番号等

試料：特になし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒534-0021 大阪市都島区都島本通 2-13-22

電話 06-6929-1221（代表）

研究責任者 地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター
消化器内科 平田直人